



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「金のおの」

★今回の道徳の授業のねらい

うそやごまかしをしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする判断力を育てます。

★お話のあらすじと内容

前段は、神様が示した金や銀のおのに目をくらすことなく、自分のおのは鉄だとはっきり言うことのできた正直なきこりの話です。

後段は、はじめから金や銀のおのを欲しいと思って、わざと自分のおのを池に投げ込んで、神様をだまそうとしたきこりの話です。

両者を比較して、正直で誠実なきこりの気持ちを読み取れるようにします。

★子どもたちの授業のふりかえり

- ・ぼくは、はじめのきこりのように本当のことを言いたいです。
- ・今日の授業で、やっぱり正直だといいな、と思えました。わけは、正直だとスッキリするからです。
- ・うそをついたら後悔するから、正直な心がいいと思えます。
- ・正直にいい気持ちで、はじめのきこりみたいな人になりたいです。

★家庭で話し合っほしいこと

今回の授業では、子ども達も知っているイソップ童話の「金のおの」を題材に、正直な心について考えました。子ども達の中から「はじめのきこりのように正直になりたい」というふりかえりが多く出て、正直な心について深く考えることができました。

人が見ている見えていなくても、うそをついたり、ごまかしたりすることは自分にとってもうしろめたいことであることを、低学年のときからしっかりと身につけられるようにしていきたいものです。ご家庭でも日ごろから、明るい心で楽しく生活させるためにもお子さんと正しく向き合っ、じっくり話し合うなどしてみてはいかがでしょうか。